

第1学年1組 音楽科学習指導案

平成28年11月22日(火) 第5校時
児童数 19名(男子10名女子9名)
指導者 織田 澤 絵 里
場 所 第一音楽室

1 題材名 ようすを おもいうかべよう

2 題材設定の理由

(1) 学習指導要領との関係

本題材では、主に小学校学習指導要領 A 表現 歌唱イ「歌詞の表す情景や気持ちを想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりし、思いをもって歌うこと。」歌唱ウ「自分の歌声及び発音に気を付けて歌うこと。」B 鑑賞ア「楽曲の気分を感じ取って聴くこと。」鑑賞ウ「楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲や演奏の楽しさに気付くこと。」に関連している。

(2) 題材にかかわる児童の実態

本学級は、音楽に合わせて体を動かしながら拍を感じたり、音楽を通して友達とのかかわりを楽しんだりしている児童が多い。歌唱指導では、歌うことが好きという児童の気持ちを大事にしてきた。その中で、魅力ある歌声で歌ってみたいという意欲を高め、自分の歌声を大切にきてきれいな歌声に気付いて歌うことを目標としている。しかし、友達に負けまいとして大きな声で歌ったり、リズムや音程があいまいなまま歌ったりする児童が見られる。

1学期学習した『うみ』では、海についての思い出や写真を見て、情景を思い浮かべながら歌えるように指導したところ、ゆったり揺れるような雰囲気でも歌う工夫ができた。また、3拍子のリズム感や拍子感を味わうこともできた。

(3) 本題材における指導

本題材では、音楽を聴いて場面の様子を想像しながら楽曲の気分を感じ取ったり、音楽に合わせて体を動かしたりする活動を通して、鑑賞する楽しさを味わう。また、歌詞の表す様子や気持ちを想像し、思いをもって表情豊かに歌うことに焦点を当てた学習を進めていく。

本時は、歌詞を大切に歌唱活動していく。短い詩ではあるが、子供たちにも分かりやすい言葉で四季が表現されている。色や形、動きなど、様子を思い浮かべやすい言葉が多いため、歌詞の内容から歌い方の工夫へとつなげることができる。

一つ一つの言葉の発音に気を付けながら歌詞を読んだり、歌に合わせて体を動かしたりすることで、言葉のもつ語感を感じ取り、どんな様子を表しているのかを想像して表情豊かに歌うことができるようにしていく。

3 研究主題との関わり

本校では、研究主題を「まごころをつくしあい、みんな仲よく、たゆまず学び続ける児童の育成」として研究を進めている。

本時は、人権教育上のねらいを「コミュニケーション能力」におき、歌唱の学習を通して、友達の考え方や感じ方を認め合う中で、意見や気持ちを適切に伝え合い分かり合えるようにしていきたい。

【手立て①】 グループ学習を取り入れる。

どんな表現で歌いたいのか考える際、グループ学習を取り入れる。自分の意見をもたせてから、交流することで自分の意見を深められるようにする。

6	<p>○歌詞の表す様子や気持ちに合う表現の仕方を工夫し、表情豊かに歌う。</p> <p>・グループに分かれて、場面を分担し、四つの季節をつなげて歌う。</p>	<p>・前時に考えた表現の仕方を試しながら、歌詞の表す様子や気持ちに合う表現で歌うようにする。</p> <p>②音楽表現の技能【演奏聴取】</p>
---	---	---

9 人権教育上のねらい（普遍的な課題「コミュニケーション能力」）

友達のかえ方や感じ方を認め合う中で、意見や気持ちを適切に伝えることができるようにする。

10 人権教育上の視点

- (1) 友達のかえ方や感じ方を共感しながら聞く態度を育てる。（価値・態度）
- (2) 自分のかえ方や感じ方を伝えることができる。（技能）

11 本時の学習指導（5 / 6時）

(1) 本時の目標

歌詞の表す様子を想像して、発音や表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。（音楽の創意工夫）

(2) 本時で主に扱う【共通事項】：速度・強弱

(3) 展開

◎人権教育上の配慮

学習活動	学習内容（・）	指導上の留意点（○）評価規準（☆）
1	<p>常時活動を行う。</p> <p>・「ゆかいに歩けば」を音楽に合わせて体を動かす。</p> <p>・今月の歌「もみじ」を歌う。</p>	<p>○姿勢、声の出し方、表情など基本的な事項をひとつひとつ確認しながら進める。</p> <p>○音楽の授業の雰囲気作りをする。</p> <p>○姿勢の確認をする。</p>
2	<p>既習曲「ひのまる」を歌う。</p> <p>・歌詞を大切にし、のびのびと歌う。</p>	<p>○本時の活動につなげられるように、きれいな歌声で歌詞を丁寧に歌うように助言する。</p>
3	<p>学習のめあて、本時の活動を知る。</p> <p>・本時のめあてを知る。</p> <p>・教科書の挿絵から聞こえてきそうな音を想像する。</p> <p>・四季のイメージを発表する。</p> <p>・CDを聴いて、曲の感じをつかむ。</p> <p>・歌詞を声に出して読む。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">かしを たいせつにして うたおう</div> <p>○四季の挿絵を提示する。</p> <p>○一人一人のもっているイメージを出し合い、各季節のイメージをふくらませるようにする。</p> <p>◎四季のイメージを発表したとき、教師が児童の意見を復唱する。また、児童の中でも共感した人を聞く。（価値・態度）</p> <p>○言葉のまとまりに注意しながら、声に出して読むようにする。</p>
4	<p>教材「はる なつ あき ふゆ」を歌う。</p> <p>・音程や発音に気を付けて歌う。</p> <p>・まとまりを意識して歌う。</p>	<p>○息つぎの場所を確認させる。</p> <p>○「が」を柔らかく歌わせる。</p> <p>○旋律のまとまりを意識して歌う。</p>

<p>5 歌詞の様子や気持ちを思い浮かべてどんな表現で歌いたいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員で、1番を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・グループで、場面を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・グループで話し合ったことを、全員で共有する。 <p>6 1～4番を通して歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発音に気を付ける。 ・強弱や速度に変化を付けて歌う。 ・表現の仕方を工夫しながら歌う。 <p>7 振り返りをする。</p> <p>8 次時の予告を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○春（1番）は、一斉に考えてその後のグループ活動へつなげる。 ○イメージをふくらませるための発問をする。 ○体を動かしたり、強弱や速度も考えたりしていく。 ◎発表後は、児童に声をかけて一人一人の意見を大切にしている態度を示し、誰でも発言できる雰囲気を作る。（技能） ○体を動かしながら考えさせていく。 ○強弱や速度を考えさせる。 ☆創歌詞の表す様子を想像して、発音や表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 【発言内容・表情観察・演奏聴取】 ○他のグループから付け加え等あるか声をかけ、表現の仕方を工夫させていく。 <ul style="list-style-type: none"> ○分かったこと、できたことを記入させる。 ○グループに分かれて歌い、みんなで聴き合うことを伝える。
---	--

12 板書計画

歌詞	挿絵	歌詞	挿絵	歌詞	挿絵	歌詞	挿絵	かしを たいせつにして うたおう はる なつ あき ふゆ
	イメージ		イメージ		イメージ		イメージ	
	速度		速度		速度		速度	
	強弱		強弱		強弱		強弱	

第1学年2組 道徳学習指導案

平成28年11月22日（火）第5校時

児童数 18名（男子9名女子9名）

指導者 久米秀鳳

場所 1年2組 教室

1 主題名 しんせつになったおおかみ[B-(6) 親切・思いやり]

2 資料名 「はしのうえのおおかみ」（出典：学習研究社「みんなの道徳1年」）

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は、内容項目 B-(6)「身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。」をねらいとしている。

よりよい人間関係を築くためには、相手に対して思いやりの心をもって接することが大切である。相手の立場に立った励ましや援助が実践できる児童を育成していきたい。自分の身近な人に温かい心で接し、お互いに思いやりの心をもって生活しようという態度を育てたい。

(2) 児童の実態について

本学級の児童は入学以来、係や当番の仕事等を通して友達と仲良く協力し合うように指導してきた。座席や並び順が近い友達と学習や活動を行ってきたことで、友達と一緒に活動することのよさを実感できるようになってきた。お互いに声を掛け合ったり、遊んだりする場面が増えてきている。

本校では、「ありがとう日記」に取り組んでいる。「ありがとう日記」とは、一日を振り返り、言ったり言われたりした前向きな「ありがとう」から自己有用感を育むことをねらいとしている。本学級の児童も意欲的に取り組んでおり、友達のことを考えて発言したり、行動したりする児童が増えてきている。しかし、時として自分勝手な行動をしまい、友達に対して厳しい声かけをすることのある児童もいる。

児童の「親切・思いやり」の実態について知るために、アンケートを行った。アンケートの結果は以下の通りである。（9月1日実施）

1 友達に対してやさしくしたことがありますか。

はい… 15名

いいえ… 3名

2 友達にやさしくされたことがありますか。

はい… 16名

いいえ… 2名

3 年が下の子に対してやさしくすることができますか。

はい… 15名

いいえ… 3名

4 優しい人とはどんな人ですか。

遊んでくれる人・誰かに「ありがとう」といわれている人 等

本学級の児童は優しくしたり、されたりした経験が多いということが明らかになった。一方で、児童のなかには、「優しい人＝何かを一緒にしてくれる人」というイメージをもって

いる児童も数名いることが分かった。「優しい人とはどんな人ですか」という質問に対し、「一緒に遊んでくれる人」や「一緒にいてくれる人」など、「優しさ」を「優しい言葉や行動をしてくれる人」という認識だけでなく、「同じ空間や場所を共有してくれる人」という別の視点をもっていることが明らかになった。

(3) 資料について

一本橋の上で、主人公のおおかみが動物たちを相手におもしろがって意地悪をするところから始まっている。ところが、ある日おおかみはくまと出会う。今度は自分が意地悪をされる番だと思って橋を戻ろうとするが、くまは自分を抱き上げて先へ渡してくれた。弱い動物たちに意地悪をしていたおおかみは、くまに優しくしてもらうことによって、思いやりある温かい態度の素晴らしさを学び、成長していく様子をとらえさせたい。また、思いやりある態度は、自分にも快いこと気づかせたい。

4 研究主題との関わり

本校は、研究主題を「まごころをつくしあい、みんな仲よく、たゆまず学び続ける児童の育成」として研究を進めている。低学年ブロックでは、「相手を思い、やさしい言葉を使える児童」「自分や友達のよさを見つけられる児童」「友達と仲よく活動できる児童」を目指す児童像として、全教育活動を通じて児童の人権意識を高め、一人一人を大切にする教育を推進している。

本時は、人権教育上のねらいを普遍的な課題「コミュニケーション能力」におき、「おおかみ」の考え方の変化に焦点を合わせ、相手の考えや意見を尊重した話し合い活動の充実を図りたい。その際、研究主題に迫る手立てとして、ユニバーサルデザインの視点をふまえた以下の2つに取り組む。

【手立て①】ペーサートの活用

展開前段において、ペーサートを活用することで、登場人物やその場の状況などが児童にとって把握しやすいようにする。

【手立て②】ねらいの焦点化

誰にでも分かりやすい授業を展開するために、本時のねらいを「身近にいる人」ではなく「身近にいる友達」のようにねらいをより焦点化して授業を展開する。

5 人権教育上のねらい（普遍的な課題「コミュニケーション能力」）

相手の立場に立って考え、発言しようとする態度を育てる。

6 人権教育上の視点

(1) 友達と協力して意見を考えることができる。（価値・態度）

(2) 相手の意見を尊重したうえで、自分の意見を発表することができる。（技能）

7 本時のねらい

身近にいる友達に思いやりの気持ちをもち、親切にしようとする態度を育てる。

8 学習指導過程

◎人権教育上の配慮

段階	学習活動○主な発問	予想される児童の反応	・指導上の留意点 ☆評価の観点
導入	<p>1 ありがとう日記を活用し、身近な親切について知る。</p> <p>○どんな「ありがとう」がありましたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・落とし物を拾ってくれた。 ・運び物を手伝ってくれた。 ・体育の的当てで「上手」と褒めてくれた。 ・走っていたら「頑張れ」と応援してくれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験を思い出すことにより、親切という価値への導入を図る。
展開	<p>2 資料「はしのうえのおおかみ」を読み、話し合いの方向性をつかむ。</p> <p>○おおかみの気持ちを考えて聞いて下さい。</p> <p>3 思いやり・親切について話し合う。</p> <p>○最後の場面でおおかみは、「まえよりずっといい気持ちだった。」とありますが、どうしてですか。</p> <p>○おおかみはどうして最初から親切にすることができなかつたのですか。</p>	<div data-bbox="632 786 1422 902" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>○登場人物 おおかみ・うさぎ・きつね・たぬき・くま</p> <p>○情 況 一本橋の上で、主人公のおおかみが動物たちを相手におもしろがって意地悪をしていた。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・親切なことをした後だから。 ・いじわるをすると相手が嫌な気持ちになるから。 ・いいことをしたと思ったから。 ・親切なことができてうれしかったから。 ・いじわるなおおかみだったから。 ・いじわるが楽しかったから。 <p>・りす</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の置かれた状況を理解できるようにペープサートや場面絵を用いて資料を提示する。 ◎「○○さんと似ていて…」などの相手の意見や立場を踏まえた上での発表を行うよう声かけをする。(技能) ・最初と最後の「えへん、えへん」の場面を想起させ、比較させる。 ・意地悪よりも親切にしたほうがいいことをとらえる。 ◎座席を向かい合わせにし、ペアで話し合いを行い、意見を交流させ、考えを深める。(価値・態度) ・親切が一回きりではなく、連鎖していくものであることをとらえる。 ・誰に対しても思いやりの心をも

	○もし、このお話に続きがあるなら、うさぎさんは誰に親切をするのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・むし ・あり ・かめ 	ち、親切にしようとする心情をとらえる。
終末	<p>4 これまでの自分を振り返る。</p> <p>○これから、どんな人に親切をしていきたいですか。</p> <p>○ 本時の振り返りを道徳ノートに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達 ・弟や妹 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を通して、今後どのようにしていけばいいのかを道徳ノート記入させる。 ☆進んで友達に親切な行動をしようとしている。(ノート) ・ねらいとする価値を印象づける。

9 板書計画

しんせつはあいてに つながる。	場面絵 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px auto; width: 80%;">←うさぎ←おおかみ←くま</div>	場面絵 <ul style="list-style-type: none"> ・いじわるなおおかみだったから。 ・いじわるがたのしいとおもっていらから。 	場面絵 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px auto; width: 80%;"> まえよりいきもち 「えへん、えへん」 「えへん、えへん」 </div>	はしのうえのおおかみ
--------------------	---	---	--	------------